2023年度研修計画

	担当 4月 4/4~4/6 入職時がリエンテーションン 社会人基礎力①	5月6月5/16 (火) 8:30~17:15 (S K2F) 吸引・フィジカルイグザミネー ション6/20(火)8:30~17:15 (SK2F) 採血・点滴・皮下注射・血糖測 定について	7月 8月 7/18(火)8:30~17:15 (SK2F) フィジカルアセスメント ゴードンの機能的健康パターンとは社会人基礎力②	(本館3階図書室) (SK2F	F)	11月 11/21(火)8:30~17:15 (SK2F) 倫理綱領・ACP・社会人基礎 力③	12月	1月	2月 2/20(火)8:30~17:15 (SK2F) 事例を基に看護の核となる4つの 力の確認 社会人基礎力④	3月
I	eラー ニン グ	 初めての吸引でも自信をもって行える~患者が楽になる排痰・吸引が出来る~AA る~AA でを全で確かな技術を身につける~AA そこが知りたい!~採血の手技と基礎知識~AA 	・バイタルサインでわかる患者の異変 ~ ABCDアプローチでもれなく確認	・多重課題を ションと優労 ・1秒でもは 〜手技・連絡	を乗り切るためのコミュニケー 先順位の考え方AA よやくあなたができる急変対応 絡・応援〜AA	• 看取り期の患者 • 家族のケア AA				
	院内	5/ 看護過程 (OJTにて実施)	7/ 午後 プリセプター(2回目)	9/ 臨床推論	1	11/ 看護の核となる4つの力を基に 、 看護過程発表	12/ リーダシップ I			3/ プリセプター(3回) 3/ 次年度プリセプター(1回
I	eラー ニン グ									
	院内	6/ リーダシップ II 自己のリーダーシップ像の 形成を助ける	8/ 退院支援						2/ リーダーシップⅡ発表	
I	eラー ニン グ									
L	ノベルⅡ	・実地指導者研修 I (~8月) ・看護の日常にある倫理を考えよう (~8月/9月~10月同じ内容) ・フィジカルアセスメント(~8月 /2023.1月~2月)		・実地指導者研修 II(~10月)・チームで働くために必要なコミュニケーション(~10月)	₹	• その人らしさを支える高齢者 看護(~12月)				
	ノベルⅢ	 実施指導者研修Ⅲ(~8月) フィジカルアセスメント(~8月) 月/11月~12月同じ内容) 	3	チームで働くために必要なコミュニケーション(~10月)チーム運営に必要なリーダーシップ(~10月/2023.1~2月)		その人らしさを支える高齢者看護(~12月)家族看護(~12月)チームで取り組む倫理的課題と対応(~12月)				
L	ノベルⅣ	• 実施指導者研修Ⅲ(~8月)				教育担当者研修 I (~12月)チームで取り組む倫理的課題と対応 (~12月)				
L	ノベルV						・教育担当者研修Ⅱ(~2月)			
	主任	・主任看護師に必要なマネジメントの 基礎知識(~8月/2023, 1月~2 月)		主任看護師が取り組む問題解決(~ 10月/2023.1~2月)	管理者研修				管理者研修	最終評価
	師長			看護師長に求められる看護管理(~10月)自部署の強みを引き出すデータ活用(~10月)	管理者研修	組織のビジョンに基づく看護管理者の意思決定(~12月)看護補助者の活用推進のための看護管理者研修(~12月/2023, 1~2月)		キャリア支援のためのクリニカルラダーの活用(~2月)	管理者研修	
	院内 概念化教育(4月~3月)	看護必要度	看護必要度	認知症						
	eラー ニン グ		医療・必要度コース選択・テストBC2103・2104	• 認知症 BD2151	コースから選択 1〜2154					
	院内 年3回の研修実施とまとめ		集合研修		集合研修					活動報告発表
看護 輔助者	eラー ニン グ eラーニングの計画と実施確認									
	院内 研究メンバー決定 (1年 コース、2年コース)	5/31(水) メンバー表、テーマの提出 研究計画書の作成(1年コース、研究計画書提出(1年コース) 2年コース)	7月以降 8/31 (木) 研究計画書提出 (2年 コース)	進捗確認 (1年目二	コース、2年目コース)			1/16(火) 論文提出(1年目コース)) 中間報告書(2年目コース)	看護研究発表・PP作成 進捗報告(2年目コース)	
ը Ն	eラー 看護研究コースから選択 ラン BBH2101~BBS2102	研究デザインを理解する BBS2103 文献検索と文献検討を行う BBS2107 研究計画書を作成する BBS2109	量的データと質的データの 分析 BBS2111		for E	研究論文を作成するⅠ.Ⅱ.Ⅲ BBS2114~2116		研究成果を発表する I.II BBS2112・2113		